

# こんにちは 松坂みち子 です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告  
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.329 2017.8.2 連絡先 402-1622 >



## 平和のための戦争展

7月29、30日に開かれた「平和のための戦争展」に行きました。

和歌山大空襲、戦前の監視社会、本土決戦・和歌山の戦跡、和歌山ビキニ被災、戦前・戦中の教科書、戦争に総動員された国民生活、誇るべき私たちの日本国憲法、抗う島 沖縄、沖縄戦新聞といった、様々なテーマの展示がありました。

心に残ったのは、本土決戦に備えて護阪作戦（大阪を守る）として和歌山にも紀伊水道を進む米艦船を迎え打ちにすべく壕が掘られていたことです。もう少し戦争が長引けば、本土でも沖縄のような戦闘になっていたのでは

う。もう一つは、「抗う島 沖縄」の展示です。辺野古の海にはジュゴンがいた、まさにその写真があり、基地を作るための調査が始まってからは全く見なくなったと以前話を聞いていたことが思いだされました。

シベリア抑留体験のお話も聞きました。マイナス30度の中で、食事は4センチ角で厚さ2センチほどの黒パンと塩を溶かしただけのスープ、きびしい肉体労働を強制される。何人もの仲間を亡くして置いてきた、と涙ながらに話されました。戦争は悲惨なもの、という言葉がひしひしと伝わってきました。



## 続・核兵器禁止条約 国連で採択！

国連参加国の63%の賛成で採択された「核兵器禁止条約」ですが、唯一の戦争被爆国である日本がこの条約に参加していません。本来なら先頭に立って進めるべきだと思いますが、とても残念なことです。

現政権に参加を求めるとともに、参加する政府を作るために日本共産党は力を尽くします。

見かけます。怖い  
ことです。



それは、運転に集中しているか  
らということにしておきたいの  
ですが、回りにまんべんなく注  
意を払うことも運転には大事な  
ことです。

### みち子のひとりごと あれ？

あれ、こんなところに信号あ  
ったっけ？と後から気づくことが  
あります。  
東仲間町の西の交差点。紀の  
国大橋から来て大きな交差点の  
手前で左折、次に右折して大き  
な交差点の信号待ちを避けるル  
トになっていきます。そこに信号  
が。信号を避けたつもりが結局  
信号ありというわけです。しか  
も中央分離帯をなくして直進で  
きるようになったよう  
です。さらに後から気  
づいたのが、もう一つ  
西寄りの信号がなくなっ  
ていること。毎日のよ  
うに通っていても、新  
しい信号に引っかけ、れ  
ば気づくでしょうが、  
調子よく通り過ぎれば  
なかなかわかりません。  
それは、運転に集中して  
いるかということにしてお  
きたいのですが、回りに  
まんべんなく注意を払  
うことも運転には大事な  
ことです。

来週は、原水爆禁止世界大会に参加のためニュースをお休みさせていただきます。

こんにちは

原やすひさ です



行って5日間ほどボランティアをしている信愛

「こどもフェスタ2017」というイベントに行ってきた。こどもの幸せや平和について考えようということ、実行委員長の芝野さんと立ち話をした。こどものため(だから親や社会のため)のこんなイベントは和歌山市では初めてだろうし成功したと思う。会場で、毎年カンボジアに

高校の生徒たちと話した。キラキラと瞳が輝く17歳の女性たちの話はこの高校のヒューマニズム精神を垣間見た。それから和歌山市でも「こども落語」があるのを知った。落語ファンとしてはうれしい発見で「大喜利」を楽しんで見た。

## 浜 矩子が語る！ 誰もが幸せになれる経済論 ～日本を変える女性の力～

上記の、男女共同参画 特別セミナーに参加しました。

浜氏は、「そもそも経済とは人を幸せにするものであり、今の経済政策は野望や下心によるものであるから人を幸せにはできない」と述べました。

続いて「グローバル時代は女性のための時代、女性はグローバル時代のために存在する」とし、その理由を3点あげ、一つめは「女性は貿易材である」からとしました。浜氏は逆に貿易に向かない要素として、移動性が悪い、環境適応力が低い、軟弱であるの三つをあげ、女性はそのどれにも当てはまらないからと述べました。二つめは「女性はシラノである」からとし、シラノ・ド・ベルジュラックが中央突破の度胸を持ちながら人の痛みがわかる優しさがあり、求められることを提供できる気配りがある、愛嬌と度胸を兼ね備えた人物であり、日本の女性も愛嬌と度胸のブレンドがうまいからと述べました。三つめは、グローバル時代は二つの「ない」時代として、誰も一人では生きていけない時代、自分が一番だと威張ることのできない時代、だとしました。グローバル時代とは、弱肉強食の時代ではなく、本質的には支え合い、お互いさまの時代である、そのために争いは避けなければならず永遠の平和への道につながる、そういう潜在的可能性を持っているグローバル時代を本来の姿に立ち戻していかななくてはならないと語りました。

会場からの質問に答えて、男女共同参画がすすまないことについて、「弱いものの強いものいじめが差別」であり、「強い」女性は忍耐力とゆとりを持ってじわじわと考えていけばよいとしました。

### お詫びと訂正

先週号「明日の和歌山市を築くジュニア会議」の記事の中で「市政」とすべきところが「姿勢」となっていました。訂正してお詫び申し上げます。ご指摘ありがとうございました。



「昨日生まれたブタの子が」  
3番(湖畔の宿 替え歌)  
昨日生まれたタコの子が  
タマに当たって名誉の戦死  
タコの遺骨はいつ帰る  
骨がないから 帰れない  
タコの母ちゃん 悲しがる

石や誰の不明の毛髪が入っているなどの噂が出る状況のもと、戦死者の母親の悲しい心を歌っている。作者は大阪の子としかわかっていない。なお、元歌の方は厭戦思想を生むという理由か、治安維持法が何かで先に禁止歌とされていた。

ー続くー  
(八十翁)